



動きの前

ムーブは、結果である。

動きは、選択のように見える。

だが多くの場合、
それはすでに傾いている。

これは、立ち回りの話ではない。

賢さの問題でもない。
戦略の整理でもない。

どう動くかではなく、
なぜ、そこに傾くのか。

同じ場面でも、
角度だけが違う。

守っている。
何を、とは言えない。

それでも、傾く。

動きは、生まれていない。
すでに、出ている。

ムーブは、意志ではない。
重心が、外に出ただけだ。

振る舞いを整えても、
角度は残る。

場面が変わっても、
同じところから崩れる。

人は、考えて動くのではない。
立っている位置から、
自然に崩れるだけだ。

人は、動いていない。

出ているだけだ。



Edition — 存在の芯
別景：動きの前

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026